

スポーツ

●全日本学童軟式野球大会栃木県第四ブロック大会(5・3)
 ▼優勝 日光ザ・ビクトリー
 ▼準優勝 安良沢フアイトーズ
 ●市長杯学童野球大会(5・16)
 ▼優勝 日光ザ・ビクトリー
 ▼準優勝 安良沢フアイトーズ
 ●市長杯争奪野球大会(5・16)
 ▼優勝 日光アドニス ▼準優勝 シーザー
 ●優秀選手賞 福田靖夫(日光アドニス) ●敢闘賞 渡辺正夫(シーザー)
 ●春季職域対抗野球大会(5・24)
 ▼優勝 日光電報電話局 ▼準優勝 光工業 ●優秀選手賞 小野弘次(日光電報電話局) ●敢闘賞 鈴木一成(光工業)
 ●春季市民庭球大会(中学男子団体) ▼優勝 小来川中A ▼準優勝 東中A(中学女子団体) ▼優勝 東中A ▼準優勝 日光中A(中学男子個人) ▼優勝 忍田守・原田隆之(東中) ▼準優勝 神山隆之・佐藤庄平(小来川中)(中学女子個人) ▼優勝 斎藤映子・大橋宣恵(東中) ▼準優勝 福田美恵・柴田三保子(小来川中)(一般男子団体) ▼優勝 古河A ▼準優勝 市役所(一般女子団体) ▼優勝 日高A ▼準優勝 N・S・T・C(一般男子個人) ▼優勝 佐藤隆司・矢野久

雄(市役所) ▼準優勝 中村森夫・尾田篤志(N・S・T・C)(一般女子個人) ▼優勝 島田惠津子・佐藤祐子(N・S・T・C) ▼準優勝 高橋早苗・斎藤康子(N・S・T・C)

●市民卓球大会兼県民体育祭予選(小学団体) ▼優勝 野口小B ▼準優勝 所野小B(中学男子) ▼優勝 鈴木達也(東中) ▼準優勝 田中徹(東中)(中学女子) ▼優勝 三浦論美(東中) ▼準優勝 矢野由美子(東中)(一般男子) ▼優勝 柿沼明典(古河) ▼準優勝 毛塚勇(古河)(一般女子) ▼優勝 丹野真智子(日高) ▼準優勝 井上高江(日高)(婦人の部) ▼優勝 湯沢イツ(所野) ▼準優勝 新井トシ(所野)

人事

(一)内は前任者名(敬称略)
 ●水道料金収納委託者(6・1) ▼大栗アイ子(村中礼子) 花石町久次良町一部
 ●小来川財産区 ▼議長 佐藤隆男(佐藤節夫) ▼副議長 福田孫表(大橋孫一)
 ●日光市体育協会 ▼会長 小平恒治(森島春男) ▼副会長 野口清Ⅱ(新任Ⅱ) ▼監事 小久保充夫(小平恒治) ▼同僚 斎藤義夫(野口清)
 ●日光伝統工芸組合協議会

▼会長 鈴木一常(村上長四郎) ▼副会長 山岡和二郎(鈴木一常)

善意銀行

五月中に、日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝いたします。(敬称略)

●市内要援護者に 知野イネ(稲荷3)千円 ●市内の恵まれない子に 植木善見(匠町)二千元 ●下野三楽園に 竹沢啓三(下鉢石)千円 ●社会福祉に 林重之(埼玉県)千円、ニルバーコラス一同 二万円、日光のみの市実行委員会 五千元、青木実(松原)一万円 ●身体障害者に 親和会 孔版社有志(清滝2)二千元 ●身体障害者友愛会に 匿名 四千元 ●老人福祉に 寺田良一(安川)三千元、小森谷タマ(御幸)二千元
 (物品預託)
 ●身体障害児に 鶴島アヤ(安川)おしめ二十枚 ●市内施設に ニルバーコラス一同 タオル百枚、羽住喜太郎(清滝1)敷ふとん二枚、掛ふとん二枚 ●日光小学校に 匠町老人クラブ寿康会 雑布二百五十七枚
 (香典返し廃止による預託)
 ●社会福祉に 上野菊七(下鉢石)五万円

「他人の子を叱つた私」作文から⑤

母親である私が子供を叱るといふことは、我が家の日常においては、ごくあたりまえのこととして家族が受けとめています。何も言わず、叱ることもしないで、後々あれもだめこれもだめだったと嘆くなら、言うべきことを言い叱りもして、結果はだめだったと思える方がよいという怪しげな持論を立てています。それでも、「一つ叱るなら三つほめよう」と思いながら現実には厳しく、三人の息子は叱られる種を蒔き散らし、母親を優しい母親としておいてはくれません。小学校低学年の場合、親として見た時に、気持ちの上でも時間的な面でも余裕を持って叱るといふのはむづかしいものですね。

他人の子を叱った私

野口小PTA 江袋利子

息子も含めて小学一年生ばかり六人が用水堀へ物を落とし、流れ具合を見るために追

いかけました。そして、途中で乗っていた自転車を放り出して用水堀つたいに走り、用水堀と交差した国鉄線の線路の上にはいたのです。まかり間違えば生命にかかわるような場所なので、日ごろから入ってはいけないと強く言い聞かせていたのです。また、息子が或ることで担任の先生からご注意をいただいたばかりだったので、びつくりしてしまい、「早く戻りなさい」と、思わず悲鳴にも似た声を出してしまいました。その時の様子を想像していただけるでしょうか。

子供達には、絶対にしてはいけないと言いつつ、聞かせ、お母さん達とは、お互いに子供の行動に注意し叱つてくださるよう、すぐ電話で話し合いました。相手は誰であれ、叱られたことはその場限りの心の痛みで済みますが、何事か起こしてしまつたら一生消すことのできない痛みとして残ってしまいます。ちよつとした注意の言葉が子供達を不幸から守ることができると思ったら、私は素晴らしいことだと思つたのです。

みんなのひろば